

学び合う活動の中で自ら思考し表現する生徒の育成

—態度目標とルールの設定及び思考ツールの活用を通して—

特別研修員 工業 三田村悟（高等学校教諭）

生徒の実態

- 自ら表現するのが苦手、特定の生徒の発言に合わせて授業を受けている
- 自ら考えることが苦手、答えが出るのを待っている

教師の願い

- 自分の意見を表現し、他者と協力して積極的に問題解決する力を身に付けてほしい

学び合う活動の雰囲気・環境づくり

＜態度の目標＞

- ・先生・友達の話を聞く。
- ・よく考える。
- ・自分の意見を表現する。

【考えてみよう】
スイッチを閉じて交流電動機を動作させよう。
※ただし、このスイッチには直流の小電流しか流せない。

～ルール～

- ・カードを並べて、回路になるよう線でつなぐ
- ・司会者は、グループ内で誕生日が2番目に早い人
- ・答える順は、司会者の左側の人から順に時計回り
- ・他人の言った意見を否定しない
- ・全員の意見が出たらそれらを検証し、意見をまとめる
- ・制限時間は10分

手立て1

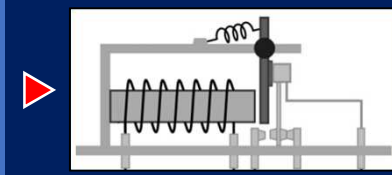
態度目標と
ルールの設定

手立て2

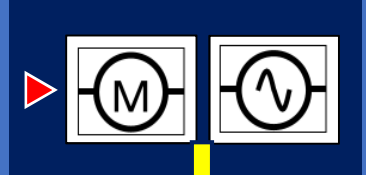
思考ツールの
活用

思考とコミュニケーションの促進

■ラミネートしたワークシート



■機器カード



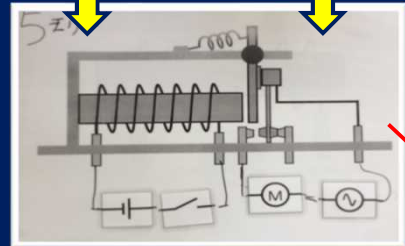
積極的に

学び合う活動

▶ 自ら思考し
表現する力

【課題】

リレーを使って、
スイッチが閉じた
ときに交流電動機
が動作する回路を
作ってみよう！



ワークシート上で機器カードを並べ替え、線を書き入れることで、コミュニケーションを図りながら回路を考える。ワークシートがラミネートしてあるので、ホワイトボードマーカーで書き直しが可能である。

【生徒の反応】

- ・自分の考えを説明しやすい。
- ・説明だけだと分からないときがあるが、図で教えてもらえるので分かりやすい。
- ・間違ってもすぐに消せるし、みんなの意見も書きやすい。

目指す生徒像

学び合う活動の中で自ら思考し表現する生徒

成果

- 手立てを用いた電気基礎の授業では、他者とのコミュニケーションが、生徒の思考を助け、深めるのに有効な手段であることが分かった。
- 生徒は積極的に自分の考えを表現し、他者とコミュニケーションを図りながら問題解決を行うことができた。

課題

- 表現力を向上させるためには、コミュニケーションが不可欠な学び合う活動の時間を確保する必要がある。そのためには効率的に授業を進める必要がある。
- 学び合う活動の質が向上するよう、ルールの見直しや思考ツールの改善を行っていく必要がある。